



消防千葉

2013 No.518 平成25年2・3月号

平成25年3月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801 (定価50円)
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



枇杷倶楽部巨大菜の花畑といちご狩り(南房総市)安房支部

平成25年新春を迎え 県内各地で消防出初式開催

平成25年の新春を迎え、恒例の消防出初式が1月5日(土)の船橋市、南房総市等を皮切りに2月10日(日)の成田市までの間、県下48消防団において消防職・団員をはじめ消防関係者や地域住民の参加のもと盛大に繰り広げられました。

消防出初式は、新しい年を迎え、消防職・団員が地域の安心・安全を守る職責の自覚を新たにし、防火・防災に対する消防人の心意気を示すとともに、地域住民の防災意識を高めるために毎年実施しているものです。

各会場には森田千葉県知事、倉田消防協会最高名誉顧問、石橋消防協会長、消防協会各支部長などが出席し、人員、器具の点検に始まり、パレードや分列行進などが規律正しく行われ、長年功労のあった消防団員の表彰等も行われました。

また、会場によっては建物火災を想定した消火訓練や伝統を感じさせるとび職組合員によるはしご乗りの演技、子供たちのマーチングバンドの演奏など、それぞれの地域での特色ある出初式が、多数の地域住民や家族が見守る中、整然と行われました。

各地の消防出初式の様子を写真により一部紹介します。

☆南房総市消防出初式 1月5日(土)



消防協会長挨拶



消防操法演技

☆東金市消防出初式 1月6日(日)



八鶴湖への一斉放水

☆長生郡市市町村圏組合消防出初式 1月12日(土)



協会長表彰



防災ポスター表彰

☆松戸市消防出初式 1月12日(土)



倉田最高名誉顧問の表彰

☆柏市消防出初式 1月13日(日)



はしご乗り



消防協会会長表彰



松葉中学校吹奏楽部演奏

☆君津市消防出初式 1月13日(日)



消火・救護訓練



☆銚子市消防出初式 1月20日(日)



人員・車両点検



内助功労表彰

千葉県消防協会臨時理事会の開催

千葉県消防協会臨時理事会が平成24年12月12日(水)に千葉市内で開催されました。

開会に先立って、第48回千葉県消防操法大会において総指揮者を務めた小田山副会長に会長より記念品の「鳶口」の贈呈並びに第23回全国消防操法大会において模範救助訓練を行った銚子市消防団に対して日本消防協会からの「感謝状」及び「記念品」の贈呈の伝達が行われました。

石橋 毅会長の挨拶の後、第20回全国女性消防団員活性化大会の開催地を引き受けること及び協会の顧問の推薦について審議が行われ、平成26年度の活性化大会を浦安市を開催会場として引き受けること、開催にあたっては関係機関に協力要請をすることが議決されました。

顧問の推薦についても原案どおり議決され、次の報告もなされました。

◆ 報告事項

1. 銚子市消防長の異動に伴う後任評議員の選任
2. 第1回定時理事会以降の職務執行状況及び財務の状況の報告
3. 各消防団長の意見を取りまとめ日本消防協会へ提出した「消防団確保のための総合対策」
4. 平成25年の出初式について
5. 消防団120年・自治体消防65周年記念事業



平成24年度 婦人防火研修会の開催

昭和61年にスタートした千葉県婦人防火研修会も第27回目を迎え、本年は1月23日に千葉県消防学校講堂に県下各地から婦人(女性)防火クラブ員など消防防災関係者多数のご参集をいただき、平成24年度の研修会が開催されました。

はじめに、主催者を代表して石橋 毅千葉県少年婦人防火委員長と竹内久子千葉県婦人防火クラブ連絡協議会長からの挨拶の後、秋本敏文日本防火協会会長からの祝電の披露がありました。

午前中は、竹内会長から「住宅防火対策」について①平成23年6月に住宅用火災警報器の設置が全国で義務化されたこと。②全国の設置率をみると77.5%(平成24年6月現在・総務省消防庁推計)に止まっていること。③千葉県の設置率は71.7%と全国平均に及ばないこと(千葉市の設置率は87.3%)。④奏功事例は、消防庁に報告があったものだけでも、7,604件を数え、住宅用火災警報器により早期発見、初期消火ができ大きな火災を食い止められること等の報告、婦人(女性)防火クラブ員、自主防災組織、消防防災関係者が一丸となって住宅用火災警報器や防災品の普及促進に一層尽力する旨の要請がなされました。



続いて、松戸市中和倉女性防火クラブの石村時子会長から活動内容の発表があり、「自分たちの地域は自分たちで守る！」をモットーに、住宅用火災警報器設置促進の街頭キャンペーンの展開、火災予防運動期間における駅頭キャンペーンに加え、ひとり暮らし高齢者住宅の訪問などが紹介され、また、先の東日本大震災による県内の被害状況を纏めたDVDを視聴しました。

24年度婦人防火研修会



午後は、(公財)市民防災研究所理事・特別研究員の岡島醇先生による「災害イメージ・トレーニングのすすめ」～防災は想像力から生まれる～と題してDIG(災害頭上訓練)を通して大変貴重なご講演がありました。

「地震発生を想定してその時起こる被害の状況、行動、必要とするモノ・ヒトなどを時系列で考えなさい。」この課題に対し、受講者は全員で考え、周囲の人との意見交換をしました。

地震が発生したら何からどのようにするかについて①命を守る時間帯②家と家族を守る時間帯③近隣を守る時間帯④暮らしを守る時間帯の4つに分け説明がありました。岡島先生は、「災害に対応する率先市民になるためには、地域のハザードを理解するとともに、人と人のつながりを大切に、地域のさまざまな問題に取り組む必要がある。」と結ばれました。

研修終了後、参加者からは「DIGの大切さが分かった。」「有事の際、声を掛け合うことの大切さがよく理解できた。」などの感想が寄せられました。参加者は、終始熱心に聴講し、平成24年度千葉県婦人防火研修会は盛会裡に修了しました。

なお、東日本大震災により消防団員254人が犠牲になり、遺児も169人を数えます。今回の研修会参加者に義援金をお願いしたところ多くの皆様から心温まるご支援を頂き、皆様のご厚志は2月5日に消防団職員殉職者遺児育英奨学基金(秋本敏文会長)にお届けしました。



第65回 日本消防協会定例表彰式

平成25年2月26日(火)、「第65回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団128団、功績章934名、精績章2,227名、勤続章7,151名、優良婦人消防隊15隊、優良婦人消防隊員20名、消防協会等役職員永年勤続者6名の表彰が行われました。



秋本日消会長の式辞

本県では、石橋千葉県消防協会長が特別功労賞を受章したのを初め、表彰旗1機関(旭市消防団)、功績章33名、精績章80名、勤続章260名がそれぞれ受章しました。

表彰式の後、前総務省自治財政局長の椎川 忍氏により自身の体験を踏まえ演題「地域の元気は 消防の元気」で特別講演が行われました。



古谷防災担当大臣の祝辞



受賞者代表で謝辞をする石橋協会長



特別功労章を受ける石橋協会長ほか



講演する椎川 忍氏



勳芳千歳 第63回 千葉県消防大会開催

平成25年2月27日(水)、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第63回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、県下消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、公益財団法人千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により、毎年行われているもので、23年及び24年の大会が東日本大震災の影響で中止となったため3年ぶりに開催されたものです。

当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、森田千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、消防庁長官や日本消防協会長等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された方、またご家族の方、誠にありがとうございました。



千葉県知事表彰

第63回 千葉県消防大会受章者等一覧

表彰種別	表彰者数
消防庁長官定例表彰	功労章9名・永年勤続功労章93名
千葉県知事表彰	特別功労章15名、永年勤続功労章60名、内助功労46名 防災関係表彰2機関
日本消防協会長表彰	特別功労章1名、表彰旗1機関、功績章33名、精績章80名、勤続章260名
日本防火協会長表彰	道府県婦防連合会長25年功労1名
千葉県消防協会長表彰	特別功労章7名、永年勤続功労章211名、内助功労171名 功績章36名、表彰状7名、特別表彰2機関、感謝状2名
千葉県少年婦人防火委員会 委員長表彰	優良幼年消防クラブ表彰1クラブ、優良少年消防クラブ表彰1クラブ、 優良婦人消防クラブ表彰1クラブ
叙勲・褒章	春の叙勲12名、秋の叙勲12名、第18回危険業務従事者叙勲28名、 第19回危険業務従事者叙勲28名、春の褒章4名、秋の褒章3名、 文化の日千葉県功労者表彰3名、防災功労者内閣総理大臣表彰3機関



表彰旗(旭市消防団)



日本防火協会長表彰(竹内久子)



少年婦人防火委員会長表彰

多年の労苦に報いる栄光

平成24年に栄えある叙勲・褒章を受章された方々を紹介します。

1 叙勲受章者一覧

(1) 平成24年春の叙勲 (12名)

【瑞宝小綬章】

元市川市消防局	消防正監	石井 勇	元千葉市消防局	消防司監	佐藤 彰
---------	------	------	---------	------	------

【瑞宝双光章】

元栄町消防団	団 長	石井 清輝	元松尾町消防団	副団長	佐瀬 孝一
元安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防正監	鈴木 正弘	元市原市消防団	団 長	土岐 忠行

【瑞宝单光章】

元栄町消防団	副団長	伊藤 秀一	元大網白里町消防団	団 長	高橋 まさ幸
元習志野市消防団	団 長	三代川 磐	元香取広域市町村圏事務組合香取市消防団	団 長	村田 勇
元市川市消防団	副団長	湯浅 重男	元野田市消防団	副団長	吉岡 信彰

(2) 平成24年秋の叙勲 (12名)

【瑞宝小綬章】

元長生郡市広域市町村圏組合消防本部	消防正監	秋葉 侑	元千葉市消防局	消防正監	小澤 敏行
元佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部	消防正監	齊藤 克男			

【瑞宝双光章】

元市川市消防団	団 長	川島 忍	元安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防正監	庄司 親雄
---------	-----	------	---------------------	------	-------

【瑞宝单光章】

元いすみ市消防団	副団長	石井 晴幸	元栄町消防団	団 長	大久保 靖夫
元市原市消防団	副団長	齋藤 優	元長生郡市広域市町村圏組合消防団	分団長	齋藤 森慶
元千潟町消防団	団 長	高木 武雄	元君津市消防団	副団長	根岸 重夫
元印旛村消防団	団 長	鳩谷 榮衛			

(3) 第18回危険業務従事者叙勲 (28名)

【瑞宝双光章】

元千葉市消防局	消防正監	足立 吉正	元船橋市消防局	消防監	石井 東志夫
元四街道市消防本部	消防監	伊藤 晃	元千葉市消防局	消防監	内田 廣夫
元我孫子市消防本部	消防司令長	海老原 志典	元船橋市消防局	消防監	小川 規充
元千葉市消防局	消防監	小川 満	元成田市消防本部	消防監	栗山 英雄
元八千代市消防本部	消防監	佐久間 隆之	元袖ヶ浦市消防本部	消防司令長	重城 関男
元流山市消防本部	消防監	鈴木 新一	元市原市消防局	消防監	東田 敏男
元八千代市消防本部	消防監	豊田 一郎	元習志野市消防本部	消防監	中村 久
元松戸市消防局	消防監	平井 昭二	元野田市消防本部	消防司令長	福田 知夫
元夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	消防正監	美吉 絃巳	元我孫子市消防本部	消防司令長	村松 弘雄
元市原市消防局	消防監	森 吉利	元成田市消防本部	消防監	山田 博之
元千葉市消防局	消防監	吉井 彰			

大切な人を助けよう!女性救命講習会

千葉市消防局

千葉市少年女性防火委員会は、11月19日「消防局」21日「稲毛消防署」26日「若葉消防署」の3会場で、女性消防クラブ員と市内居住・勤務している女性を対象に指導員・受講者全て女性の「短時間救命講習」を開催した。

指導員から応急手当の重要性の説明を受けた後、胸骨圧迫の実技、心肺蘇生法の実技、AEDの実技を実施した。

参加者は、思いがけないほどの重労働に困惑した様子だったが、真剣に取り組む姿が印象的で、消防への関心を深めるとともに「命の大切さ」「助け合うこと」を学んだ。



救急隊・医師合同研修会の開催

千葉市消防局

平成24年12月5日救急医療の最前線で活躍する医師と救急隊員との交流を深めるとともに、最新の救急医療に関する知識の習得及び技術の向上を目的に救急隊員・医師合同研修会が行われました。

この研修会は、千葉大学医学部附属病院救急部・集中治療部の深い理解と協力の下、平成8年から開催を重ね、今年で18回目を迎えました。常に社会的にクローズアップされている、救急需要対策や傷病者の搬送問題など、業務を取り巻く環境や課題も大きく変化を遂げてきています。

このような変化に対応するため、救急隊員は常に質の向上が求められており、本研修会が質の向上に応える研修の一つとなるよう期待しています。

今年の本研修会は、3題の症例発表のほか、来年度から共同運用される指令業務についての一般講演、救急救命士の新たな処置範囲拡大についてのパネルディスカッションや日本医科大学救急医学の先生による教育講演が行われ、意義の深いものになりました。



「平成24年度警防技術大会」開催

千葉市消防局

千葉市消防局(石井幸一消防局長)では、平成20年度から多数の経験豊かな職員が退職を迎え活動技術の低下対策として、実火災を想定した実践的な訓練を取り入れることにより、初動活動時における迅速・安全かつ確実な活動体制を追及することとともに、現場指揮能力はもとより部隊活動能力及び個人技能の向上と合わせて、若年層職員への警防活動技術の伝承を目的に11月12日(月)・13日(火)の2日間、競技型の訓練を開催しました。

○部隊訓練の部

(6消防署の代表 12チーム36隊132名)

・部隊による技能訓練

1チーム3隊11名の編成により、警笛合図で一斉にスタートし、防火衣装着から、所要のロープ結索、空気呼吸器を着装し全隊員がゴールするまでの迅速性と確実性を評価する。

・消火・救出活動訓練

再スタート位置から警笛合図により、消防車に乗車し「木造2階建て逃げ遅れ者2名」の火災想定現場に出動し、消火及び救出活動を行い、全ての活動行動に対する迅速・安全・確実性を評価する。

○個人訓練の部

(6消防署から選抜された30歳以下の隊員36名)

・技能訓練 ※女性隊員5名が男性隊員に交じり競い、好成績を残しました。

警笛の合図でスタートし、防火衣装着、空気呼吸器装着、ロープ結索、面体装着及び資器材搬送の一連の技能訓練を行い、ゴールするまでの迅速性と確実性を評価する。



第16回 火災調査研究発表会の開催

平成25年1月22日(火)千葉市消防局講堂において、車両火災や製品火災等、火災原因調査が火災予防につながった貴重な知識・技術及び調査結果の発表会を開催しました。

(財)日本消防設備安全センター企画研究部違反是正支援センター北村芳嗣次長をお招きし、作成している火災調査書類が裁判でどのように扱われ、また今後の対応など火災調査に対するあり方、進め方についてご講義いただき、県内31消防本部(局)からの聴講者は、重責、重要性について再認識しました。



平成25年度消防防災機器等の開発・改良、消防防災 科学論文及び原因調査事例に関する表彰

作品募集

■募集区分

- (1) 消防防災機器等の開発・改良
- (2) 消防防災科学に関する論文
- (3) 原因調査に関する事例報告

■応募受付期間

平成25年4月1日(月)～5月10日(金)

■表彰及び賞

優秀な作品には消防庁長官から表彰状および副賞を贈呈

■スケジュール

5月から8月にかけて審査を行い、9月に表彰作品を発表

※詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。 <http://www.fri.go.jp/>

【お問い合わせ先】 消防庁 消防研究センター 研究企画室

●TEL:0422-44-8331 ●FAX:0422-44-8440 ●E-mail:yosho2013@fri.go.jp

日々の動き

防災危機管理部
消防協会 共同編集

- 平成25年3月 18日 千葉県消防協会定例理事会 (千葉市)
 19日 千葉県消防協会臨時評議員会 (千葉市)
 22日 千葉県消防学校初任科卒業式 (県消防学校)

平成25年春季全国火災予防運動の実施 平成25年3月1日(金)から3月7日(木)

《重点目標》

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 4 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 5 林野火災予防対策の推進

平成24年度全国統一防火標語 「消すまでは 出ない行かない 離れない」

〈表紙の説明〉

枇杷倶楽部巨大菜の花畑といちご狩り
(南房総市)安房支部

枇杷倶楽部南側に東京ドームがまるごと入る広さの、南房総最大級の巨大菜の花畑が現れます。

菜の花の香りと黄色いふわふわのじゅうたんを一面に敷き詰めたような花畑をぜひご観賞ください。

見頃は2月中旬から3月中旬、天候によって変動があります。

また、枇杷倶楽部のすぐ裏で、5種類のいちご狩りもできます。

